

事業所における自己評価結果

事業所名		Liebe上条					公表日	令和8年3月
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・広さは十分とは言えないが、怪我のないように安全に配慮した支援体制の計画を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・配置数は足りているが支援をより充実させるためには職員の増員が望ましい。	・求人応募を継続する。 ・病欠等の人員不足に際しては、ご利用者様にお申込みをキャンセルしていただくことで運営を継続できている状況である。そのため、お申込みの段階で把握できる範囲の情報については、事前にお伝えできる体制を整えることが望ましい。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・室内に段差はない。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・見守りの必要上、職員と共にであれば個室を使用することができる。 ・女兒と男性職員が二人きりになることがないよう配慮している。支援に入ることがある際は、安全面に配慮しドアを開放した状態で実施している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・ボランティアや外部講師による活動を設けることで、第三者の視点から施設をご覧いただき、その評価をもとに業務および支援の改善につなげている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・最近では、『幼児安全法』の支援員養成講習を修了している。 ・事業所内研修や外部研修、Zoom研修に参加している。 ・疑問点や不明点の共有のもと、事業所内研修を通して全員で知識の共有を行っている。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標を図るために同じプログラムを基盤としてその結果を元に各課題を明確化し、次の計画や活動の取り組み方法について計画を立てている。 ・ その時期の年齢や前後のお子様の様子、課題に応じた取り組み方の変更や、実施を行っている。 ・ 繰り返すことで習得できる目的のため一部固定化している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日中の就業時間内での振り返りはできかねるため、翌朝に持ち越している。ご利用者様の来所までには前日の振り返りと各課題の確認、計画を行っている。 ・ 支援終了後から退勤までが1時間と限られており、送迎や必要書類の作成を優先するため、打ち合わせや振り返りの時間を確保することが難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員全員の視点でご利用者様を観察し、声掛けや対応について基準を設けることで支援の統一を図っている。また、体調の変化などの気付きがあった際には、その都度必ず共有している。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援上の課題把握を目的として、園様での様子や担当教諭の見解等の情報収集のために訪問・見学を行う場合がある。実施後は保護者様へ報告し、情報共有に努めている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所等訪問支援員様、相談支援員様、園様、学校様とのやりとりを適宜行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答)					
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援センター様とは適宜情報共有を行っているが、現状は情報共有に留まっている。 	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	<ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時に出会った際の関わり程度で、交流等には至っていない。 ・ご利用者様を安全にお預かりし、安心してお過ごしいただいた状態でお返しすることを最優先としている。安全管理の観点から、施設利用でない他児との関わりの機会の確保は予定していない。 	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・ご希望やお困りのご家庭に地域の研修の案内や情報等を配布させていただいている。 	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・新規のご契約者様には基本の書類に加えて留意点をまとめたものを配布させていただいている。 ・ご案内における窓口の分散を防ぐため、重要事項については管理者が主体となり対応窓口を担っている。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの課題やお困りごとについては、日々職員間で共有し、適切な支援となるよう内容の検討と実施に努め、具体的な支援方法や結果については、連絡帳等を通してお伝えしている。 	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまについてのご相談や事業所の不透明な部分に対して等、質疑応答ができるよう、市の施設をかりて茶話会の実施を行うことがあるが不定期開催である。 	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・活動概要や行事予定については、HUGアプリを通して活動スケジュール等の公表を行っている。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア団体や外部講師による活動を設けることで、施設環境や支援状況を見ていただく機会がある。安全面の観点から招待は行っていない。 ・地域住民は招いていない。 	
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアルは契約時にお渡ししており、災害訓練の実施状況についてはサービス提供記録を通じてご報告している。 ・マニュアルを策定し研修や訓練への参加をしているが、ご家族様への周知は不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を活用し、保護者様にとって有益な情報を分かりやすくお伝えできるよう、記載内容の充実に向けた取り組みを検討する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に虐待防止のチェックと研修、訓練を実施している。 ・支援フロアには見守りカメラを設置し、安全管理と支援の質の向上に努めている。 ・女兒と男性職員が二人きりになることがないよう配慮している。別室対応での支援に入ることがある際は、安全面に配慮しドアを開放した状態で実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・現在、身体拘束の対象者はいないが、必要時に備え、事前説明に関する書類は整備している。